

窓やベランダからの子どもの転落事故にご注意ください！



近ごろ、小さな子どもが部屋の窓やベランダから転落する事故が多発しています。

各家庭におかれましては、以下のことに特に注意をしながらお過ごしいただくようお願いします。

- ★窓やベランダのそばに、足場になるようなものを置かない
- ★窓、網戸や手すりや壊れていないかを定期的に点検する
- ★子どもが窓などの鍵を勝手に開けないように、補助錠を設置する
- ★子どもだけを家に残して外出しない
- ★窓を開けている部屋では、子どもだけで遊ばせない
- ★窓枠や出窓に座ったり、窓や網戸に体重をかけたりしない

子どもから一瞬たりとも目を離さないことは
できず、限界があります。

子どもの見守りとあわせて、
転落事故が起こらない環境づくりを行いましょう！



転落事故防止のための チェックリスト



「コバトン」

◎窓やベランダ周辺の環境の見直し

- エアコンの室外機は、手すりから離して設置しましょう。
- 窓の近くに家具や台など、登ることができるものをおかないようにしましょう。
- ベランダに踏み台になるような荷物を置かないようにしましょう。

◎窓や網戸、手すりの定期的な点検

- 網戸が外れやすくなっていないかを確認しましょう。
1歳の体重でも網戸によりかかると、外れて転落する場合があります。
- 子どもが勝手に窓を開けられないよう、窓や網戸等に「補助錠」をつけましょう。
- こまめに各居室の鍵が開いていないかを確認しましょう。

◎子どもを見守る

- ★ 子どもだけを家に残して外出しないようにしましょう
「ちょっとそこまで……」と考えがちですが、子どもが不安に思い、ベランダに出て周囲を見渡したり、一人で外に出てしまったりする危険があります。
- ★ 換気の際など、やむを得ず窓が開いている場合には、子どもだけで部屋にすることがないようにしましょう。
外の音、電車や車の音、友達の声などの音に反応して、手すりや荷物によじ登り、転落する危険があります。
- ★ 窓枠や出窓に座って遊んだり、窓や網戸に寄りかかったりしないようにしましょう。
網戸が外れて転落する事例は幼児に限らず、7歳以上の児童でも発生しています。